

お世話になった人へ感謝を伝える



地域住民の交流を図るとともに、活動を発表する場の提供を目的として、町内の各地区で公民館まつりが開催されました。2月25日(日)に開催された「日吉小校区よりあいフォーラム」では、小学校全校児童による「感謝の会」が行われ、日頃からお世話になっている地域の人や学習支援でサポートしてもらっている人に対し、感謝の気持ちを込めた手紙を送りました。児童から感謝の言葉とともに手紙が送られると、受け取った人たちは目頭を押さえながら読んでいました。

また、その後にはふるさと学習をとおして学んだふるさと「ひよし」の魅力について、学年ごとに保護者や地域の人に向けて発表しました。

伝統を引き継ぎ みんなの心に感動を



2月16日(金)に町民会館にて、養老小学校6年生児童による令和5年度卒業記念公演オペレッタ「養老物語」が上演されました。同校では、総合的な学習の中で、誰よりも真面目に働く親孝行息子「源丞内」の生き方や精神を学んでいます。そこから学んだ優しさや親孝行の気持ちを歌や演技で表現し、卒業生から後輩たちへ引き継いでいくことが伝統となっています。伝統として引き継ぎ、そして自分たちで更に進化させて創り上げたオペレッタを堂々と演技する姿に、鑑賞していた保護者や教師は胸を打たれ、受け継いでいく後輩たちは作品に込められた思いを心で感じ取りました。

感謝の気持ちを演技に込めて



埼玉県熊谷市で開催される第40回全国高等学校体操競技選抜大会に出場する日比野咲季選手が2月29日(木)に川地憲元町長を訪問しました。

川地町長は「全国大会出場おめでとうございます。開催地である埼玉県は少し離れた場所ですが、こういった状況の中でも練習の成果を発揮していい演技をしてきてください。いい報告を聞かせてもらえることを楽しみにしています」とエールを送り、日比野選手は「この大会は、自分にとってとても大きく大切な大会なので、これまでの練習の成果を出し切って悔いのない大会にしたいです。また、これまでお世話になった人たちへ感謝の気持ちを込めて、いい演技をしたいです」と話しました。

心をひとつにアンサンブル



2月22日(木)に広幡小学校で開校150周年記念事業ポストイベントとして、高山西高等学校のウインドアンサンブル部を迎え、「コンサートinひろはた ウインドアンサンブル」が開催され、全校児童をはじめ、教職員、保護者や地域住民が、県内屈指の実力を誇る演奏を鑑賞しました。曲間には、アンサンブルを構成している各楽器の紹介があり、その特徴や役割について学びました。ぴったりと息の合った圧巻の演奏に参加者は魅了され、一緒に踊ったり、手拍子することで会場全体がひとつになる感動的なコンサートとなりました。